

志木市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例新旧対照表

新	旧
<p>(保育所等との連携)</p> <p>第5条 略</p> <p>2・3 略</p> <p>4 市長は、<u>次のいずれかに該当するときは、第1項第3号の規定を適用しないこととすることができる。</u></p> <p><u>(1) 市長が、法第24条第3項の規定による調整を行うに当たって、家庭的保育事業者等による保育の提供を受けていた利用乳幼児を優先的に取り扱う措置その他の家庭的保育事業者等による保育の提供の終了に際して、利用乳幼児に係る保護者の希望に基づき、引き続き必要な教育又は保育が提供されるよう必要な措置を講じているとき。</u></p> <p><u>(2) 家庭的保育事業者等による第1項第3号に掲げる事項に係る連携施設の確保が、著しく困難であると認めるとき（前号に該当する場合を除く。）。</u></p> <p>5 前項（<u>第2号に該当する場合に限る。</u>）の場合において、家庭的保育事業者等は、法第59条第1項に規定する施設のうち次に掲げるもの（入所定員が20人以上のものに限る。）であって、市長が適当と認めるものを第1項第3号に掲げる事項に係る連携協力を行う者として適切に確保しなければならない。</p> <p>（職員）</p> <p>第22条 略</p> <p>2 家庭的保育者は、市長が行う研修（市長が指定する埼玉県知事その他の機関が行う研修を含む。）を修了した保育士又は保育士と同等以上の</p>	<p>(保育所等との連携)</p> <p>第5条 略</p> <p>2・3 略</p> <p>4 市長は、<u>家庭的保育事業者等による第1項第3号に掲げる事項に係る連携施設の確保が著しく困難であると認めるときは、同号の規定を適用しないこととすることができる。</u></p> <p>5 前項の場合において、家庭的保育事業者等は、法第59条第1項に規定する施設のうち次に掲げるもの（入所定員が20人以上のものに限る。）であって、市長が適当と認めるものを第1項第3号に掲げる事項に係る連携協力を行う者として適切に確保しなければならない。</p> <p>（職員）</p> <p>第22条 略</p> <p>2 家庭的保育者は、市長が行う研修（市長が指定する埼玉県知事その他の機関が行う研修を含む。）を修了した保育士又は保育士と同等以上の</p>

知識及び経験を有すると市長が認める者であって、次の各号のいずれにも該当する者とする。

(1) 略

(2) 法第18条の5各号及び法第34条の20第1項第3号のいずれにも該当しない者

3 略

(居宅訪問型保育事業)

第36条 居宅訪問型保育事業者は、次に掲げる保育を提供するものとする。

(1) 略

(4) 母子家庭等の乳幼児の保護者が夜間及び深夜の勤務に従事する場合又は保護者の疾病、疲労その他の身体上、精神上若しくは環境上の理由により家庭において乳幼児を養育することが困難な場合への対応等、保育の必要の程度及び家庭等の状況を勘案し、居宅訪問型保育を提供する必要性が高いと市が認める乳幼児に対する保育

知識及び経験を有すると市長が認める者であって、次の各号のいずれにも該当する者とする。

(1) 略

(2) 法第18条の5各号及び法第34条の20第1項第4号のいずれにも該当しない者

3 略

(居宅訪問型保育事業)

第36条 居宅訪問型保育事業者は、次に掲げる保育を提供するものとする。

(1) 略

(4) 母子家庭等の乳幼児の保護者が夜間及び深夜の勤務に従事する場合への対応等、保育の必要の程度及び家庭等の状況を勘案し、居宅訪問型保育を提供する必要性が高いと市が認める乳幼児に対する保育